

研究実施のお知らせ

2023年10月19日 ver.2.0

研究課題名

胆道癌に対する膵頭十二指腸切除術の治療成績に関する検討

研究の対象となる方

2006年4月1日から2022年12月31日の間に島根大学医学部附属病院で胆道癌と診断され、膵頭十二指腸切除術を受けられた方

研究の目的・意義

遠隔転移のない胆道癌（遠位胆管癌、胆嚢癌、乳頭部癌、十二指腸癌）に対する根治治療は膵頭十二指腸切除術(PD)です。胆道癌に対するPDは手術手技も高難度であり、周術期合併症発生リスクも他の消化器疾患に比べ高い傾向にあります。このため、安全な手術と緻密な患者管理が求められます。胆道癌に対するPDを合併症なく安全に行い、かつ、根治性の高い手術を施行することは、重要な課題です。本研究において、胆道癌に対するPDの合併症の原因を解明することで、手術法の安全性や質を客観的に評価し、今後の手術療法の改善に役立てることができると考えています。

研究の方法

電子カルテおよび病院保管資料から血液生化学検査（血算、栄養状態、肝機能、腎機能、腫瘍マーカー）や画像所見（超音波、CT、MRI、内視鏡検査結果）、臨床経過（主訴、現病歴、既往歴、合併症、再発の有無、生死の有無）のデータを抽出し、胆道癌に対するPDの質や安全性に影響を与える因子について、統計学的に解析します。収集したデータは、島根大学医学部消化器・総合外科学講座の外部から容易にアクセスできないパソコン内に保管します。研究対象者の識別は研究用の識別番号により行い、その対応表は収集データとは別に、施錠可能な場所で研究責任者が適切に保管します。

研究の期間

2018年4月11日～2028年12月31日

研究組織

この研究は島根大学医学部 消化器・総合外科学講座が行います。

研究責任者（研究で利用する試料・情報の管理責任者）：

島根大学医学部 消化器・総合外科学講座/附属病院 肝・胆・膵外科
岸 隆

試料（検体）・情報の利用停止

ご自身の試料（検体）・情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、退院後半年以内までをお願いいたします。研究期間中、随時解析・結果の公表を行っていくため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の試料（検体）・情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部 消化器・総合外科学講座/附属病院 肝・胆・膵外科 岸 隆
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
電話 0853-20-2232 FAX 0853-20-2229